



2018年1月15日発行

第616号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野順子

### 新年の「あきつ」

理事長 飯野順子

新年、おめでとうございます。「平らかに成る」1年となるよう、希望を新たに、スタートしています。今年も、よろしくお願ひいたします。

日野原重明さんは、「生命(いのち)とは、人間に与えられた「時間」でもあること、その生命をどう使うかが大切であること、どんな生命も、かけがえないこと」と話しています。

◆生きるとは、「時間」を紡ぐことです。

◆「時間」の重さは、生命の重さです。

園生の人生の「時間」は、毎日の生活のその時々を、意欲・喜び・期待・感動などで包み込むことで輝きます。そのために大切なことは、心地よい眠り、生命を育む豊かな食事、健やかなからだ、好みを培う日中活動、人とのつながり、自然との触れ合いなどが、日常生活の質を高める基盤として整っていることです。

昨年4月、文部科学大臣は、「障害のある方々がそれぞれのライフステージで夢と希望をもって生きていけるよう、生涯にわたる学習活動の充実を目指すために関係部局の連携を図ること」とメッセージを发出了しました。これは、生涯学習は、「いつでも、どこでも、だれにでも」という意味です。私は、秋津療育園も、ライフステージに応じた学びを提供する生涯学習の場と捉えています。

私が主宰するNPO法人による「訪問カレッジ@希林館」では、医療的ケアの必要な重度の方(18歳以上)を対象に、生涯学習の場を創っています。還暦を迎えた方や入所施設の方もいます。活動を通して、明らかになったことは、次のことです。園生の状況にも重ね合わせて、読んで下さい。

- ①何歳になっても、新たな体験を受け止め、緩やかに、横への成長・発達を続けています。
- ②学習が始まると、学校時代に蓄積してきた力を発揮し、顔が輝き、笑顔一杯になり、「生きる喜び」を表現しています。

③一週間に一度の訪問であっても、その日を心待ちにし、生活リズムを整えています。④筋緊張や拘縮を予防し、自分の身体への気づきを促す身体の取組は、必要不可欠な活動です。季節によって低体温・覚醒状態の低下等のために、体調管理が優先となります。それでも生命に向き合い、学びに向き合い、持てる力を精一杯発揮している姿は、学びの必要性を無言で訴えていると重く感じています。一週間に一度であっても、一定のスケジュールの下に、メリハリのある生活が保障されることは、その人の「生命」を強めることの証しです。秋津療育園におきましても、これまでの日中活動のガイドラインを整理し、新たな検討を加える時を迎えています。

### 「国際交流センター」が完成しました！

旧ひまわり寮(男性職員寮)跡地に、昨年9月より建設しておりました当園の新しい施設が完成しました。名称は「社会福祉法人天童会 国際交流センター」。主な目的は、インドネシア人介護福祉士候補者(以後候補者)の宿舎として建設されました。2階建ての部屋は8部屋あり、6部屋は候補者の宿舎として、2部屋は候補者が国家資格を取るために勉強する教室と共同スペースとなっています。この教室は会議や地域貢献活動、日韓施設交流研修など、多種多様な目的で使用を見込んでおります。(事務 栗田)



### 2017 秋津療育園 文化祭

10月14日(土)・15日(日)明治薬科大学学園祭、21日(土)・22日(日)秋津公民館にて、園生さんの作品や訓練・通園センターの様子、行事食の写真や音楽取り組みの映像などを展示しました。体験コーナーでは、「手裏剣ハンドスピナー」と「ブンブンゴマ」を行いました。

外部展示を取り入れてから、5年目を迎える秋津療育園を知って頂き、声を掛けてくださる方もいらつしやいました。各会場二日間、たくさんの方々に作品を見てもらい楽しんで頂けたと思います。

11月1日〜27日までは、玄関ロビーにて園生さんの日々の活動や取り組みの様



子どもたちの写真や数々の作品、一般作品で



は、御家族や地域の皆さん、職員や職員のお子さんからお預かりした作品を展示し、今年度の文化祭はとても華やかになりました。

5日(日)には、文化祭記念講演があり「社会福祉法人バステル理事長 石橋俊一氏をお迎えし、大変貴重なお話しを聞きました。

8日(水)はボランティア公演で、パフォーマーの「じっさい」さんが来園され、各病棟をまわり楽しい時間となりました。

また、各病棟では、様々な催しを計画し、良い文化祭月間になりました。

次回はなお一層の成果がでるよう1年頑張りたいと思います。(支援課 堀江)



### 第59回 クリスマス会 平成29年12月23日(土)

毎年12月23日は秋津療育園「クリスマス会の日」です  
開園以来毎年行われている行事であり、今年で59回を数えました。大運動会・納涼会と並び「秋津療育園三大行事」のひとつです  
今年は霊南坂教会の張伝道師のもと礼拝が執り行われました  
みんなで讃美歌を歌いお説教を説いていただきました



サンタさんは何をしているのかな?



礼拝後は各病棟毎に祝会が行われました。  
出し物が出たり歌を歌ったり楽しいひと時でした。  
もちろんサンタさんもトナカイさんも来てくれましたヨ。楽しい1日を過ごしました。  
サンタさん来年も来てくれるかな?



サンタさんから絵本が届きました



何が入っていましたか?

今年も栄養管理室がケーキを作ってくれました



病棟  
病棟  
病棟

**栄養管理室**

スポンジのケーキが食べづらいという園生さんには、ムース状のデザートを提供しています。フィルムを使用してマンゴーのムースを作成し、生クリーム・イチゴクリーム・ガナッシュソースでサンタクロースをイメージして作りました。

### 昭和



左の写真は開設当時のクリスマスの写真、降誕劇を演じているのでしょうか?当時は重症児が児童福祉法に規定されておらず、公的機関からの補助が一切受けられないため、国際福祉婦人会、アメリカ軍、各宗教団体様などからのボランティアにより、クリスマス会が行われていました。昭和 34 年はアメリカ軍立川基地より慰問・35 年はよこいとグループと歌手の茅原さん・36 年は所沢カトリック教会からの慰問の記録が残っています。

### 「暮らしの相談ステーション」事業開始

秋津療育園 相談支援センター

東村山市の社会福祉法人が共同で行う「暮らしの相談ステーション」が10月から始まりました。どんな相談でも無料で受け付け、小さな困りごとが大きな問題となる前に、予防することが狙いです。社会福祉法人による公益的な取り組みとして、既存の福祉施設28か所が窓口となっています。

「もっと早くに相談していただけたら…」が無くなるよう、相談内容により関係機関に繋ぎます。

地域の中でどこに相談してよいかかわからない。と困っている方がいたら「相談してみたら」と声をかけていただきたい。(相談支援中村)



### 絵本を読んでもくれたり…

### 「日中支援ボランティアさん」受入開始

秋津療育園 療育サービスク

1月より日中支援ボランティアさんを受け入れることになりました。これまで歌や演劇等を披露して下さるボランティアさんにはたくさんお越しいただきましたが、病棟に入り園生さんと一緒に活動に参加するボランティアさんの受け入れは初めての試みとなります。

絵本を読んでいただいたり、一緒にお散歩に出かけたりすることで、今まで以上に楽しく充実した療育活動になるよう繋げていきたいと思っています。

今後は車椅子の清掃をお願いできる方や花壇づくりのお手伝いをしていただける方のボランティアさんもお呼びする予定です。

ボランティアさんの力をお借りして、地域の皆さんとの交流が深められれば良いですね。

(サービスク小池)



# お還暦 ごめどう ございます

12月に2名の園生さん、1月に1名の園生さんが還暦を迎えられました。赤い帽子に「ちゃんこ」が皆さんお似合いですね。栄養管理室特製「還暦メニュー」がお膳に並んで嬉しい祝会となりました。

「秋津療育園」も今年、満60歳 この3名の方々と当園は同級生になります。70歳80歳も「秋津療育園」と共に元気に迎えることができますよう願っております。皆さんおめでとうございます！



祝還暦

祝還暦

古い写真や文庫の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたい物を掲載します。

### 何故、私達はこの仕事をするのでしょう

元理事長 故 草野 時治

何故私達は、この仕事をするのでしょうか。唯単に子供達が可哀そうだから、人手不足を解消するため。善意の自己満足……のものではないことは確かであるが、正確に自分の信念なりで整理のできている人は少ないと思われる。勿論動機としてそれらの理由で当る事はごく自然なことと云える場合もあるが、決してそれだけで終ってはならない。

### 秋津アーカイブ

秋津の古い写真と文庫

私達の仕事の基本的な問題は、いかに児童の人權を守るかにある。それから始めて生ずる問題に健康児と障害児の差異はあるが、それだけの問題点である。これらの事が我々の社会の中で価値という問題にからめて本質を見誤る危険を数多く見ることが出来る。ある家庭では学校での成績の良し悪しが問題であり、マスコミでは人間の美醜だけの形だけの問題で終始する。勿論これらの事由が人間であり、児童である否定の材料になり得ないの言をまたないが、とすれば錯覚をすることがないか、又重症児の人權が、家庭に於いて適確に守られにくい場合が多くあるので施設の存在意義がある。

例えば経済的、家庭環境的、その他情愛過多による誤り等しかし施設にも問題がある。合理的に過ぎる危険性、独善的になりがちな点、しかし総合的に判断して進まなければならぬ。そして相対的な問題として私達の人間性の高揚の場としての修養が必要である。人間の人格形成に科学(学問)、宗教、思想等ありますが、いずれも相当な努力が要求されます。

### じっさいさん来園!

11月8日

今年も「じっさい」さんが来園してくれました。ジャグリングを中心にパントマイムやバルーン、パフォーマンスを披露してくださいます。



いつも笑顔を絶やさず、園生さんの中に溶け込んでゆく様子は見事 各地のイベントでも活躍するプロフェッショナルです。素敵!

(昭和41年発行 あきつ3号より)

# 第1病棟

## ポンポン書初め

第1病棟に面白い書初めがあるよ!とのうわさを聞きつけさっそく取材に行きました。なるほど、楽しそうな「書初め」が貼っています。上手に作るコツを聞いてみましょう。



①ラミネート加工した文字をくりぬいて「シート」を作ります



②ポンポン棒にガーゼのテルテル坊主に割りばしをつけたものを作り墨汁をつけます



③PON! PON! PON!



④シートをはがすと完成!です



それぞれのPON!PON!を貼り合わせるとご覧の通り!素敵な書初めが出来ました。皆さんとても真剣に取り組んでいました。(支援課 田口)

10月から設置していた「赤い羽根共同募金箱」合計で26,739円が集まり、社会福祉法人東京都共同募金会 東村山地区協力会様に渡しました。ご協力ありがとうございました。



## 10月29日 — 部署対抗フットサル大会 —



今年度は1棟、2棟、3棟、事務局チームが参加しました。各チーム2回ずつ総当たりの試合を行い、優勝の結果、1棟が2年連続で優勝を勝ち取りました。私も事務局チームで参加しました。1棟のスクールの強靭なフィジカル、屈強なメンタル、コンビネーション抜群な連携プレーには歯が立ちませんでした。来年度の標は決まりましたね。打倒1棟で日々練習に励み今年の箱根駅伝で4連覇を成し遂げた青山学院大学に負けたくない記録を打ち立ててほしいですね。今回ご参加いただきました職員の皆様、並びに職員のご家族の皆様、参加くださりありがとうございました。今年もぜひご参加頂けると嬉しいです。(事務 小池)



## 訓練科便り

機能訓練室では、グループ訓練を行なっています。先日は、4棟の園生さんと一緒に、絵の具を使った製作を行ないました。絵の具をつけた台紙をジップロックに入れ、袋の上から絵の具を押し広げて、作品を作りました。できあがった作品は、訓練室内に「あみくじ」として展示しました。



## 通園センター便り

### 納会と新年会

納会としてご利用様の好きな歌を職員と共にステージで歌い年忘れを行いました。しかし、盛り上がり始めた2曲目でネット環境の不備。曲が流れない事態とな新年会での再挑戦できないご利用者拾いながら無事にネット環境に問題なをスタートすること糧に一歩でも前進一同頑張っていきたいと思います。



### 成人式

M.Hさん成人おめでとうございます(^)/お母さんに写真を提供して頂き、産まれてから今までの写真をスライドを見ながら皆でお祝いしました。

## ご寄付

昨年10月から12月下旬までに多くの皆様にご寄付を頂きました。ご寄付頂きました皆様をご紹介します。松森妙子様、(社)日本民生文化協会内慈彩会様、ケイゴルフサービス代表 神津信一様 牧野幸次様、立正佼成会東村山協会の皆様、金子由紀子様、東村山市まちづくり部の皆様 四方悦子様、比川しずか様、岩根壽美子様、牧田勢津子様、小久保薫子様、篠原好次様 立教池袋中学・高等学校の皆様・男子生徒2年の皆様・ボランティアグループの皆様、伊藤知子様、中里清様、寺本国雄様、北村明美様、菅原武雄様、土橋栄江様、長源寺婦人会様、飛田貴子様 一般社団法人東京馬主協会様、八百忠様、扇谷真梨子様、和田真様、加藤丈次様、星ヶ丘自治会様 石橋俊一様、米村純一様、釜井浩之様、西脇昌夫様、堂本弥生様、岡田生樹様、日本聖公会様 セブンスデー・アドベンチスト新座キリスト教会様、ニッティングルームヒロコ・タンブールパリの皆様 百瀬滋子様、宮下花子様、目白平和幼稚園様、荒井葬儀社様、豊島岡女子学園中・高生徒会の皆様 東洋英和女学院高学部の皆様、稲田拓様、日本キリスト教団武蔵野緑教会、吉田重雄様、永田テル様 この度は、ご寄付をたまわりまして誠にありがとうございます。皆様方の温かいご支援とご協力に、心より御礼申し上げます。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。年末年始は、如何お過ごしになられましたでしょうか。実家へ帰省し、ゆっくりと過ごされた方も多いと思います。私も実家でゆったりまったりしてしまい、2キロも太ってしまいました。毎年反省してるような気がします。また反省。さて、昨年12月に当園にはインドネシア人介護福祉士候補者2名が入职しました。新しい風が入り、良い緊張感が増したように思えます。改めまして今年一年、広報委員として、施設の様子や園生の笑顔を皆様へ届けられますよう精進してまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。(事務 小池)

